地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2016
10月
No.29

兵庫県立尼崎総合医療センター

[部門紹介]

総務部「医師、医療スタッフ、患者さん…すべてを繋ぐパイプ役」

[診療科紹介] 膠原病リウマチ内科／小児外科

●8月22日、8月25日にキッズ参観を行いました！
兵庫県立尼崎総合医療センター・キッズ参観日へようこそ!!

●セミナーのご案内　●スタッフのつぶやき　●ぶらり～っと病院探訪

部門紹介
総務部

医師、医療スタッフ、患者さん…すべてを繋ぐパイプ役

私たち総務部は、患者さんや職員にとって快適な環境を整備し、ご提供することが、重要な役割であると考えています。

そのため、医療の専門家が集まる尼崎総合医療センターにおいて、各部門のパイプ役となり、日々の業務がスムーズに行われるようサポートすることによって、病院の基本理念である「高度・良質な医療による社会貢献」を実現すべく、病院運営を後方より支えています。

◉取り組み・抱負

総務部
（総務課・給与管理課・業務支援課）総務部長
今井　明

総務課、給与管理課、業務支援課の3つの課からなる総務部のスタッフは、約40名、新人からベテランまで幅広い年齢層のスタッフが、様々な業務に携わっています。

総務課は、職員の採用や研修だけでなく、報道機関への広報業務、災害時等非常時の訓練、コンビニ・食堂などの運営、院内保育所・看護宿舎の管理など幅広い業務を担っており、働きやすい職場作りを目指して、日々取り組んでいます。

給与管理課は、職員の毎月の給与の支払いの他、健康診断の実施、共済事業、福利厚生事業、労働災害の対応など、多様な職種の職員が、安全で安心して働くことのできる環境整備に努めています。

業務支援課は、病院に対する患者さんのニーズが多様化する中で、患者さんからのご意見に耳を傾け、患者さんにとって、よりよい療養環境をご提供できるように努めるとともに、医療スタッフからのいろいろな相談に迅速に対応することで、業務の円滑な遂行に協力しています。

◉地域へのメッセージ

私たち総務部職員は、病院では、裏方として病院スタッフと連携し、患者さんにとってより良い医療をご提供できるよう取り組んでまいります。

膠原病 リウマチ内科

患者さんの幸福とは何か？を考えながら診療を行います

膠原病リウマチ内科は、新病院開院にともない開設された新しい診療科です。診療体制を徐々に整えつつ、地域の基幹病院としての役割を果たせるように頑張っていきます。

対象となる主な疾患

関節リウマチ：

関節リウマチ患者は、我が国に7～80万人程度存在すると考えられます。膠原病の中で最も多く、有病率は約0.5%と珍しい病気ではありません。近年、有効な薬剤がいくつも登場しました。現在の関節リウマチの治療目標は、痛みと腫れがほとんどなくなることです。

古典的膠原病：

膠原病とは、単一の病名を表しているのはなく、皮膚や全身の内臓に炎症が起こっている病気の総称です。その中には、関節リウマチの他には全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎/皮膚筋炎、血管炎症候群があります。共通する症状として発熱、関節痛、筋肉痛、発疹、指先が白くなるなどあります。

その他のリウマチ性疾患、膠原病類縁疾患：

リウマチ性多発筋痛症、混合性結合組織病、ベーチェット病、脊椎関節炎、痛風、偽痛風、成人発症スチル病、再発性多発軟骨炎、抗リン脂質抗体症候群、シェーグレン症候群、IgG4関連疾患など

いずれの病気においても、診断、治療ともに専門的知識を必要とします。当科では最新の知見に基づき、患者さんごとに最適化した治療を行います。

小児外科

高度な医療と傷の目立たない手

簡単にいうと、“内科”に対して“小児科”があるのと同じで、“外科”に対して“小児外科”があります。ここでいう外科には、消化器外科、呼吸器外科、肛門科などが含まれますが、小児の頸部疾患、泌尿器科疾患、婦人科疾患、形成外科疾患なども治療の対象です。
重症患児を管理するPICU8床設置され、高度手術の術前術後管理が可能となっており、また、旧塚口病院には無かった心臓血管外科との協力のもと、高度な小児胸部疾患の手術も可能となっています。

治療・検査の紹介

鏡視下手術：

- 鼠径ヘルニア・陰嚢水腫手術、虫垂切除術、噴門形成術、脾臓摘出術等に対しては、鏡視下手術で傷の目立たない手術
- 虫垂切除術には、創部が臍部一カ所のみの手術を導入

検　査：

- ヒルシュスプルング病や胃食道逆流症に対し、内圧検査（直腸・食道）、胃食道24時間pHモニター検査、直腸粘膜生検検査を施行
- 細径気管支ファイバー・小児用硬性気管支鏡の整備により、気道系に対して幅広い診断・処置が可能
- 小児用膀胱鏡による膀胱・尿道の検査

対象となる主な疾患

小児外科領域疾患：

- 鼠径ヘルニア、虫垂炎、肥厚性幽門狭窄症、腸重積症、胆道拡張症、ヒルシュスプルング病などの腹部・消化器疾患
- 食道閉鎖症、小腸閉鎖症、鎖肛などの新生児疾患、
- 小児固形腫瘍や外傷など

および、下記領域の小児疾患

泌尿器科領域：

停留精巣、陰嚢水腫、水腎症など

婦人科領域：卵巣腫瘍、陰唇癒合など

膠原病リウマチ内科科長

蔭山 豪一

医学博士
日本内科学会　指導医　総合内科専門医　内科認定医
日本リウマチ学会　評議員　指導医　専門医

術を目指しています

左から：江里口医師、渡邉医師
片山医師、髙田医師

小児外科科長

片山 哲夫

京都大学博士（医学）
日本外科学会指導医・専門医
日本小児外科学会専門医・評議員
日本消化器外科学会認定医

8月22日、8月25日にキッズ参観を行いました！

兵庫県立尼崎総合医療センター キッズ参観日へようこそ!!

キッズ参観は、働くお父さんやお母さんの姿をこどもが実際に見学することで、親の仕事に関心をもってもらい、子育て中の看護師の働く意欲につながればと考え企画しています。2日間で年長から小学校3年生までのこどもたち42人のと、看護師37人が参加してくれました。

こどもたちは白衣を着て満面の笑みで院内を探索し、家では見られない働くお父さんやお母さんの姿を見て「かっこよかった」と感想を言ってくれました。また、あまいるちゃんに会ってテンションがあがり大はしゃぎでした。お父さん、お母さんも仕事がお休みの日に参加でしたので、こどもとゆっくり過ごせ、こどもたちもゆっくり甘えることができる時間となっていました。看護師からは「自分もこどものために頑張ろうという気持ちが湧きました」という声も聞かれ、親子共に有意義な時間を過ごすことができました。

2つの当院企画セミナーのご案内

多くの方のご参加を！

第60回市民健康公開講座「市民すこやかセミナー」

テーマ

『胸痛について』
～その胸の痛み、大丈夫？～

講 師：県立尼崎総合医療センター
▶循環器内科　医 師 当麻正直

【日　時】平成28年11月9日（水曜日）
午後2時～3時30分
【場　所】県立尼崎総合医療センター　講堂（1階）
参加費：無料（予約不要）

★お問い合わせ：地域医療連携センター
☎ 06-6480-7000（代表）

第7回 生活習慣病セミナー

テーマ

『お口と身体の健康』
～糖尿病とお口のケア～

講 師：県立尼崎総合医療センター
▶歯科口腔外科　歯 科 医 師 藤田将広
歯科衛生士 柿添　忍

【日　時】平成28年11月16日（水曜日）
午後2時～4時
【場　所】県立尼崎総合医療センター　講堂（1階）
参加費：無料（予約不要）

★お問い合わせ：外来Bブロック（糖尿病・内分泌内科）看護師
☎ 06-6480-7000（代表）

スタッフのつぶやき

メディカルライブラリーって…!?

メディカルライブラリー 司書　堀江 亜由美

メディカルライブラリーはスタッフ専用の病院図書室です。24時間365日利用可能で、医学に関する学術専門資料を所蔵し、利用者が集中して学習や作業が進められる場所を提供しています。

紙の資料の他にオンラインの電子版も導入され、書架の横にはずらりと端末が並び、医学文献の検索や閲覧ができる環境が整っています。

司書は午後のみ在室しており、普段は患者さんと接することはありません。しかし、利用者が黙々と勉強や研究に打ち込んでいる姿を通して、その向こうにいらっしゃる患者さんの存在を意識しつつ、スタッフが利用しやすい環境づくりに日々励んでいます。ただ、メディカルライブラリーには窓が無く、部署から病院の出入り口まで最短ルートを通って帰ろうとすると外の様子がわからないままで、建物の外に出て初めて雨が降っているのに気付き、傘を取りに戻ったこともありました。それ以降は、帰る前のお天気チェックが欠かせません！

ぶらり～っと病院探訪

難病患者さんの力強い味方
「難病相談センター」

一人一人の病状や生活に合わせた相談をさせていただきます！

難病相談センターは1990年10月に旧尼崎病院に開設され、当院では1階ローソン前に設置されています。

センター長の影山医師（神経内科長）のもと、保健師1名、社会福祉士2名の4名体制となっており、今回、業務内容等についてのお話を伺いました。主な業務は、以下のようです。

①難病相談…医師による医療相談（要予約）と保健師、社会福祉士による療養生活相談（平日9:00～16:30）　②難病教室…患者さんやご家族、関係者等を対象にした講演会の開催　③研修事業…難病セミナーや技術指導の開催を通じ、当院で急性期医療を受けられた難病患者さんの療養を支える地域の医療提供者をバックアップ　④ハローワークの「難病患者就職サポーター」による出張相談…難病相談センターと連携し、就職を希望する難病患者さんに対する症状の特性を踏まえた就労支援や、在職中に難病を発症した患者さんの雇用継続など、総合的な就労支援（第2・第4水曜13:30～16:00、予約制）

他にも、通院・入院中の患者さんの主治医から難病申請に関する照会を受けたり、退院支援に介入したりと、業務は多岐に渡るとのことです。「難病」と一言で言っても、国指定の難病だけで306疾患あり、一人一人の病状や生活に合わせ、相談に応えるのは大変です。昨年度の延相談件数は4,891件にものぼりますが、お話の中で印象的だったのは、「とにかく、難病でお困りの方は一度相談にお越しください」という心意気でした。文字通り、難病でお困りの方の駆け込み寺であり、当院にとって欠かせない縁の下の力持ちであることを再認識しました。

編集後記

スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、食欲の秋…　皆さんはどのような秋をお過ごしですか？　実りの秋でもありますが、猛暑や台風、集中豪雨の影響で農作物に影響が出ているのでは、と心配です。また、過ごしやすい季節となりましたが、夏の疲れが今頃…という方もいらっしゃるのではないでしょうか？　芋掘り、梨狩り、運動会、美術館めぐり、秋を楽しむには健康が第一。体調を崩してしまった方のために、当院は台風や季節の変化に負けず、これからも頑張っていきます。皆様も健康に気をつけて頑張っていきましょう！（F.S.）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社